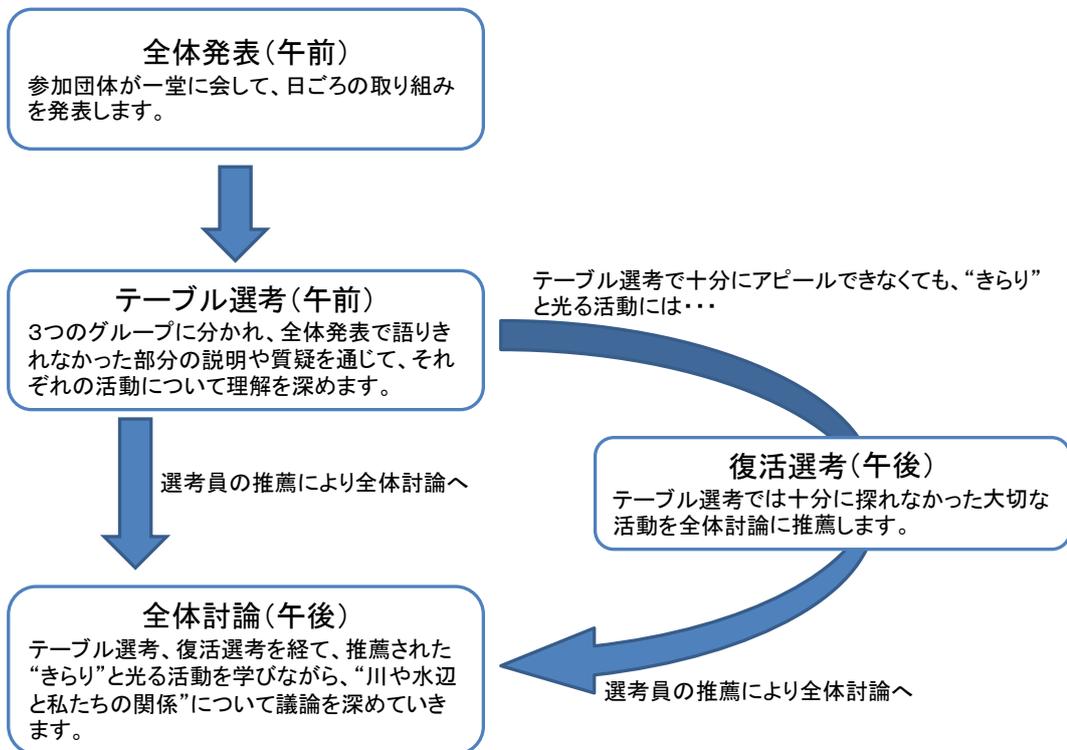


1. 淡海の川づくりフォーラムの概要

淡海の川づくりフォーラムでは、“川や水辺と共生する暮らし”、“川や水辺と私たちのいい関係”について、川や水辺にまつわる活動を実践されている皆さんとともに、公開選考方式のワークショップを通じて、それぞれの交流の中で議論を深め、探ります。

- 日時 : 平成 30 年 (2018 年) 2 月 4 日 (日) 9:30~16:30 (受付 9:10 より)
- 場所 : 滋賀県危機管理センター 1 階 各会議室
- 主催 : 淡海の川づくりフォーラム実行委員会/滋賀県
- 後援 : 滋賀県河港・砂防協会、マザーレイクフォーラム運営委員会



淡海の川づくりフォーラムは、マザーレイク 21 計画に基づくマザーレイクフォーラムとの連携事業です。



淡海の川づくりフォーラムは、滋賀県流域治水条例第 34 条に基づく県民相互の連携の支援事業です。



2. 大会プログラム

時間	内 容
9:10 9:30	○受付 ○選考委員・事務局ミーティング（進め方、選考方法等） 場所：会議室 2
9:30 9:50	○開会、ガイダンス 【大会議室】 大会議室で開会宣言を行い、その後 1 日の流れを説明します。
9:50 10:50	○全体発表 【大会議室】 全体会場で活動を発表します。（発表時間各 3 分）
10:50 11:50	○テーブル選考 【A 大会議室】 【B 会議室 1】 【C 会議室 3・4】 1) 3 つのテーブルに分かれます。 2) 発表者と選考員とで議論を深め、全体討論に推薦する“いち押し”の活動を選考します。（テーブルごとに 2 団体） 3) ここで推薦が得られなかった団体は復活選考に進みます。
11:50 12:10	○テーブル選考結果発表 【大会議室】 大会議室で各テーブルから推薦された団体（計 6 団体）を発表します。
12:10 13:00	お昼休憩  ※危機管理センターの会議室内では飲食できません。お弁当持参の方は、エントランスロビーか、ご案内する昼食場所（新館 5F 会議室）で昼食を摂ってください。
13:00 13:30	○復活選考 【会議室 3・4】 1) 時間内で自由に選考員に活動内容をアピールしてください。 2) 復活選考から全体討論に進むのは 3 団体です。
13:30 16:15	○ポスターセッション 参加者全員で、応援したい！活動に、応援メッセージカードを贈ります。
13:30 16:15	○全体討論 【大会議室】 1) 3 分間で活動内容を発表、5 分間の質疑 2) 選考員・コメンテーターを中心に、明日からの活動の参考になるような、今年いちばん“キラリと光る活動”について、参加者全員でさらに議論を深めていきます。
16:15 16:30	○各賞の発表・表彰式 【大会議室】 1) 「グランプリ」・「準グランプリ」の表彰 2) 「山紫水明賞」、「マザーレイクフォーラム賞」の表彰 3) 「応援の花咲いた賞」の表彰

3. 公開選考会の進め方・選考基準、表彰について

(1) 「公開選考会」の意味

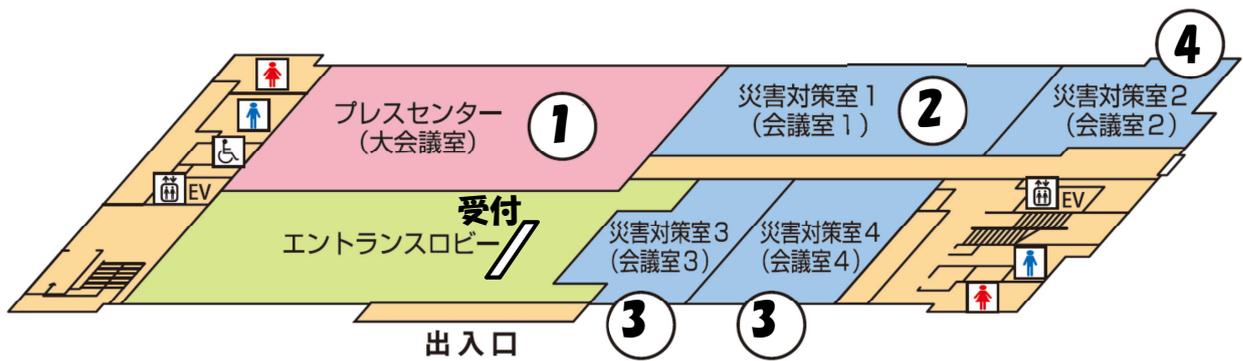
- 淡海の川づくりフォーラムは、公開選考会という仕組みを使って、“川や水辺と共生する暮らし”、“川や水辺と私たちのいい関係”について考えることが目的です・・・受賞団体の選考は、手段であって目的ではありません。
- お互いの発表を聞き、選考員や参加の皆さんそれぞれの視点を通して、活動の「よいとこさがし」をしてください。
- 14 ページから、今回参加の皆さまの活動概要を掲載しています。ページの下側に、「よいとこ探しキーワード メモ」の欄を設けています。ぜひ、「よいとこキーワード」をメモして、議論に参加してください。
- 質疑応答や討論時間を使って行われる「よいとこさがし」は、“川や水辺と私たちのいい関係”について考えを深める時間です。

(2) 公開選考会の進め方について

- 選考会は、全体発表→テーブル選考→復活選考→全体選考(公開討論会)→表彰の順番で進めていきます。
- 全体発表は、参加団体が一堂に会して、日ごろの取り組みを発表します。全体発表は1団体3分とし、質疑は行いません。
- テーブル選考は3グループ、1テーブル5または6団体に分かれ、全体発表で語りきれなかった部分の説明や質疑を通じて、それぞれの活動について理解を深めます。発表者と選考員とで議論を深め、全体討論に推薦する“いち押し”の活動を選考します。(テーブルごとに2団体)

テーブル	テーブル選考会場
テーブルA	大会議室 次頁図①
テーブルB	会議室2 次頁図②
テーブルC	会議室3・4 次頁図③

- テーブル選考で推薦が得られなかった団体は復活選考に進みます。復活選考では、選考員が大会議室に掲示された各団体のパネルを見て回りますので、時間内で自由に選考員に活動内容をアピールしてください。復活選考から全体討論に進むのは3団体です。
- 全体選考に進んだ団体は、再度、大会議室で発表をしていただきます。3分間で活動内容を発表した後、5分間の質疑の時間を設けます。
- 選考員・コメンテーターを中心に、明日からの活動の参考になるような、今年いちばん“キラリと光る活動”について、参加者全員でさらに議論を深めていきます。
- 選考員は、自らも発表者から情報を得たり、学んだりする姿勢を持ちながら参加者と一緒に“川や水辺と私たちの共生”、“川や水辺と私たちのいい関係”とは何かを探求する立場にあります。議論や選考は、後戻りや批判をすることなく、創造的に深めていくことを心がけてください。



(3) 選考基準

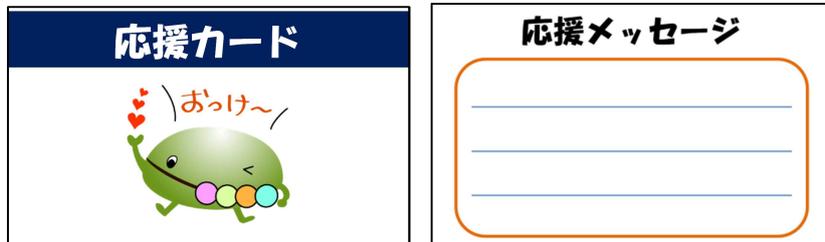
- 伝統的な文化と新しい文化が出会い融合する湖国滋賀にふさわしい“川や水辺と私たちの共生”、“川や水辺と私たちとのいい関係”を探ります。
- 内容の長所を評価する加点方式とし、短所は減点の対象としません。
- 公開選考会は、以下の4つのポイントにおいて総合評価します。

- 1) 発想・着眼評価：“川や水辺と私たちのいい関係”をめざすための斬新な発想や着眼、的確な視点についての評価
 例えば…
 - ・この発想はなかった！
 - ・やれるところからやりはじめてるのが、イイね！ など
- 2) 関わり評価：地域住民と水辺との豊かで良好な関わり合いについての評価
 例えば…
 - ・水辺が地域を元気にするね！
 - ・継続は力だ！ など
- 3) プロセス評価：市民・住民参加や、さまざまな分野の人たちとの協働のプロセスについての評価
 例えば…
 - ・え、そんな人たちも参加しているんだ！
 - ・その連携は面白い！ など
- 4) 計画・技術評価：“川や水辺と私たちの共生”のために工夫された計画手法や採用技術についての評価
 例えば…
 - ・そんなことが出来るんだ！
 - ・すこしの工夫でずいぶん違うね～！ など



(4) ポスターセッション

- 今回は、復活選考とあわせて「ポスターセッション」を行います。
- 参加者全員に「応援メッセージカード」を2枚ずつお配りします。
- 大会議室に掲示された各団体のパネルを見て、応援したい！と思われた活動に、「応援メッセージカード」を贈りましょう！



(5) 表彰

【グランプリ・準グランプリ】

- 上記の選考基準により、審査する時点の流域・地域の情勢も踏まえ、“水辺と私たちの共生”、“水辺と私たちのいい関係”のモデルとなる活動を選考します。
- 上記の選考基準により、仲間たちに希望を与える活動を選考します。

【山紫水明賞（河港・砂防協会賞）】

- 上記の選考基準とは別の視点から、今後の淡海のいい川づくり・いい湖づくりの(事業)推進に向けて貢献する活動を選考します。
- テーブル選考で推薦されなかった団体も含めて、すべての参加団体が受賞の候補となります。

【マザーレイクフォーラム賞】

- 上記の選考基準とは別の視点から、マザーレイク 21 計画の目標達成に向けて貢献する活動を選考します。
- テーブル選考で推薦されなかった団体も含めて、すべての参加団体が受賞の候補となります。

【応援の花咲いた賞】

- 上記選考基準とは別に、ポスターセッションで会場からの応援メッセージが一番多かった団体を表彰します。
- 全ての参加団体が受賞の候補となります。
- 他の賞と重複して受賞する可能性もあります。

4. 参加団体一覧・テーブル

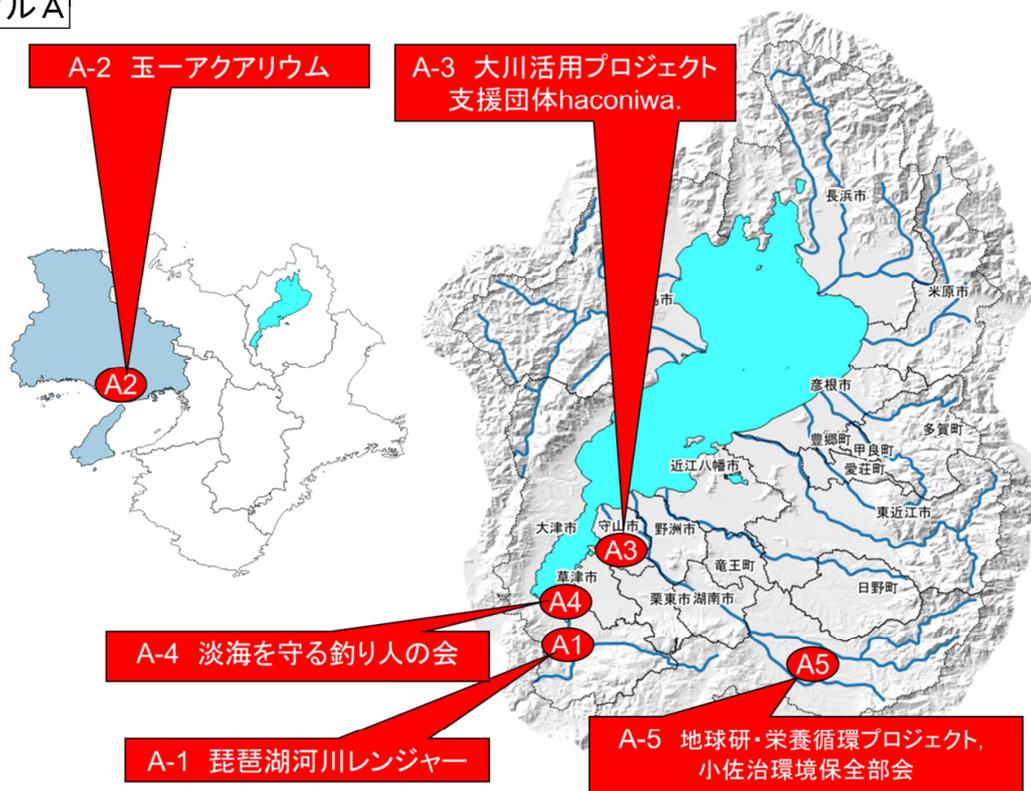
●全体発表はA-1から順番に行います。

テーブル	グループ名	湖沼・河川・活動地域等	活動内容
テーブルA	A-1 琵琶湖河川レンジャー	琵琶湖・瀬田川 (大津市)	琵琶湖河川において、住民と住民、住民と行政の連携・協働のつなぎ役を目指す
	A-2 玉ーアクアリウム	明石川 (神戸市西区玉津町)	外来種の駆除と在来種や絶滅危惧種の保護
	A-3 大川活用プロジェクト支援団体 haconiwa.	大川 (守山市)	河川整備で水環境が悪化した滋賀県守山市の大川を里川として、地域の共同体の中心とする活動
	A-4 淡海を守る釣り人の会	琵琶湖、瀬田川 (大津市)	水辺の清掃活動および環境学習を通じて地域とつながり、マナーを守って安全に水辺を楽しむための情報や琵琶湖の現状について発信する
	A-5 地球研・栄養循環プロジェクト, 小佐治環境保全部会	佐治川 (甲賀市甲賀町)	研究者との協働による水田生態系の再生活動
テーブルB	B-1 大津市北部 橋板文化を再生する会	琵琶湖辺 (大津市和邇～北比良)	「橋板」づくりと活用にむけた、生活環境的、環境教育的、観光文化的活動
	B-2 中ノ井川にホタルを	中ノ井川 (栗東市糺)	中ノ井川にホタルが生息する環境づくり、中ノ井川を四季で憩える川辺づくり、中ノ井川を結ぶビオトープづくり
	B-3 いきものみっけ寺子屋	野洲川 (甲賀市土山町)	水辺でのいきもの観察、農作業体験
	B-4 立命館守山中学校 Sci-Tech	野洲川河口部 (守山市)	野洲川河口部におけるヨシ帯モニタリング調査 3年目で新たな展開へ!
	B-5 NPO法人瀬田川リバプレ隊	瀬田川 (大津市)	高橋川および瀬田川バイパス高架下周辺の維持管理活動

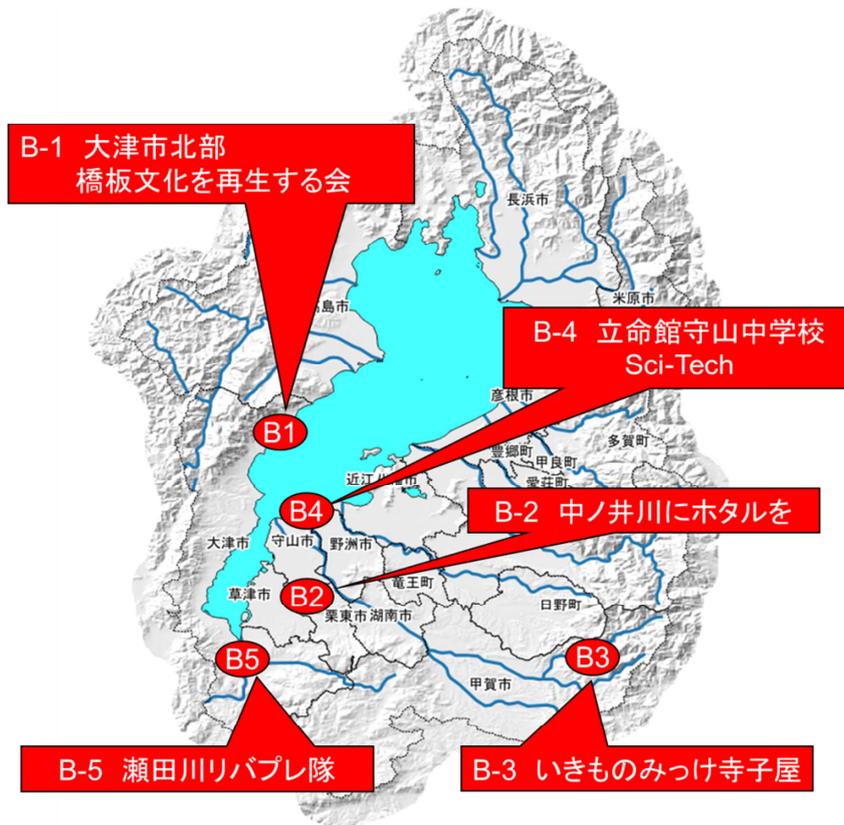
C-1	滋賀大学「環境学習支援士」会	雨丸川～細川～金勝川等 (栗東市)	親子の体験講座「身近な川の自然探検」
C-2	家棟川・童子川・中ノ池川にビワマスを戻すプロジェクト	家棟川 (野洲市)	ビワマスが遡上・産卵・繁殖できる環境の再生
C-3	京筏組	大堰川(保津川・桂川) (京都府)	伝統的な筏の復活、筏を通じたコモンズの再生
C-4	TANAKAMI こども環境クラブ	田んぼ、川、湿地、池、琵琶湖 (大津市田上)	地域から学ぶ 環境ツアー
C-5	NPO 法人国際ボランティア学生協会	琵琶湖、瀬田川 (大津市ほか)	外来水草オオバナミズキンバイの除去活動と広報活動
C-6	県立守山高等学校 SGH 課題研究チーム	吉川川 (守山市勝部)	ほたるの住める河川環境づくり ／中心市街地活性化
計		16 団体	

5. テーブル別各団体活動位置図

テーブルA



テーブルB



テーブルC

